

CTPシンターゼ(グルタミン加水分解)

Cat. No. EXWM-5789

Lot. No. (See product label)

はじめに

『明 酵素は、機能的に異なる三つの部位を含んでいます: アロステリックGTP結合部位、グルタミ

ン加水分解が行われるグルタミナーゼ部位(参照: EC 3.5.1.2、グルタミナーゼ)、および CTP合成が行われる活性部位です。反[]は、ATPによるUTPのリン酸化を介して進行し、活性 化中間体である4-リン酸化UTPとADPを生成します。その後、アンモニアがこの中間体と反[] し、CTPとリン酸を生成します。酵素は、周[]の溶液からのアンモニアも利用することができ

ます。

別名 UTP-アンモニアリガーゼ; シチジン三リン酸合成酵素; ウリジン三リン酸アミナーゼ; シチジ

ン5'-三リン酸合成酵素; CTPS (遺伝子名); pyrG (遺伝子名); CTP合成酵素; UTP:アンモニア

リガーゼ (ADP形成)

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 6.3.4.2

*CAS*登□番号 9023-56-7

ДП ATP + UTP + L-グルタミン = ADP + リン酸 + CTP + L-グルタミン酸 (全体反□); (1a) L-グ

ルタミン + H2O = L-グルタミン酸 + NH3; (1b) ATP + UTP + NH3 = ADP + リン酸 +

CTP

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタ

ム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 $^{\circ}$ で保管してください。長期間保管する場合は -20 $^{\circ}$ $^{\circ}$ で保管してくだ

3110